第5章 プランの推進

1 まなびで築く、地域に根ざした健康づくり

市民自らがまなび、自らが会得した経験や知識・技術を生かし、あばしりの「自然」「ひと (人財)」「もの(地域資源)」を活用して、地域に根ざした健康づくりに取り組みます。

このため、市民一人ひとりのライフステージにあった生涯学習の機会を提供し、「まなびで築く、地域に根ざした健康づくり」の実現をめざします。

ライフステージ	基本方針
乳幼児期	○家庭と地域がともに学び、地域全体で子どもを育てていくための環境づ
(誕生~5歳頃)	くりをめざします。 ○学びを通じて、誰もが個性と能力を発揮できる環境づくりをめざします。
少年期 (6歳~15歳頃) 青年期 (16歳~30歳頃)	○一人ひとりの主体的なまなびが、ともに行動するまなびへと進展していく学習環境を整備します。 ○まちの魅力を再発見し、伝えるための学びの充実をめざします。 ○スポーツ団体・関係機関と連携し、スポーツ活動の底辺拡大、競技力向上をめざします。 ○地域の安全・安心を世代間で学ぶことができる学習環境を整備します。
壮年期 (31 歳~44 歳頃) 中年期 (45 歳~64 歳頃)	○学びを通じて、誰もが個性と能力を発揮できる環境づくりをめざします。 ○学びの循環のための環境づくり、ひとづくりへの取組を進めます。 ○地域の安全・安心を世代間で学ぶことができる学習環境を整備します。
老年期(65 歳~)	○高齢者や障がい者、あらゆる世代の交流を通じた学習環境づくりをめざします。○学びの循環のための環境づくり、ひとづくりへの取組を進めます。○地域の安全・安心を世代間で学ぶことができる学習環境を整備します。
全期共通(誕生~)	 ○各世代に対応した学習環境の充実をめざします。 ○誰もが生涯にわたり、健康で生き生きと暮らせるための学習機会の充実に努めます。 ○こころと体を豊かにするための学習環境を整備します。 ○さまざまな人々が学び、集い・交流する、にぎわいの場づくりをめざします。 ○それぞれのライフステージや健康状態、目的に応じたスポーツや健康づくりの機会の充実をめざします。 ○知の拠点としての社会教育施設の充実をめざします。

2 推進体制づくり

健康づくりプランを市全体で推進するため、健康づくりに関する行政・教育委員会の横断的な体制を強化するとともに、一人ひとりの市民をはじめ、地域、保健・福祉の関係機関・団体、 医療機関、大学、企業など、市全体で連携・協働した取組を推進します。

3 プランの点検・評価

健康づくりプランの推進のため、計画の進捗状況について、適宜点検・評価し、必要な場合 には取組について改善を図ります。

また、計画の中間期には、見直しを図ります。ただし、社会経済情勢等の変化等に対応するため、期間を問わず、必要に応じてプランを改定することも想定します。

なお、本プランの推進にあたっては、「計画 (Plan)」 \rightarrow 「実行 (Do)」 \rightarrow 「点検・評価 (Check)」 \rightarrow 「改善 (Action)」の P D C A サイクルによる進行管理を行い、本プランに基づく施策の実施 状況と施策の達成状況について点検・評価を行います。

